



## あたたかく迎えてくれるなじみの家で

### 小規模多機能型居宅介護 ひつじ雲（川崎市幸区）



小規模多機能型居宅介護とは、主に認知症の方が、ひとつの拠点で通い・泊まり・訪問を一体的に受けられることが特徴の介護サービスです。平成十八年四月の介護保険法改正によって登場した地域密着型サービスのひとつにあたります。

川崎市にある「小規模多機能型居宅介護ひつじ雲」（以下「ひつじ雲」）も県内に約五十カ所ある中のひとつで（平成十九年七月現在）、開設してから一年あまりが経ちました。

### ひつじ雲の一日

ひつじ雲は、築四十年の民家を改装した一軒家です。定員は中心



玄関には花やベンチがあり、来た人の心もなごみます

となる通所が十名、宿泊が四名で、およそ毎日八名がひつじ雲を利用しています。利用者は送

迎後、一階の居間でおしゃべりをしたり、職員と囲碁を打ったり、さっそく風呂に入る方もいます。また、お昼が近づくと昔ながらの台所から食事の準備の音が聞こえます。調理を手伝う利用者もあり、家族の



居間を中心に、職員と利用者の笑い声が広がります

### なじみの人がすぐそばにいる安心

迎えの時間まで、職員に見守られながら思い思いに過ごしています。

認知症の方にとって、環境が変わることは大きなストレスになるといえます。ひつじ雲を運営するNPO法人「楽（らく）」の理事長の柴田範子さんは、「一年経ち、ようやく利用者も職員も落ち着いてきました」とふりかえります。家族にとつては、何かあっても

ひつじ雲のなじみの職員が対応してくれるという安心感があります。柴田さんは、「家族には、家族としての役割は担ってもらいつつ、負担をできるだけ減らしたい。利用者のケアは家族との協力が欠かせません」と、家族との関係を大切にしています。「最近では、近所の医院の協力のもと、ターミナルケアに取り組む環境も整ってきました」とのことです。

### 地域の拠点としても

ひつじ雲では、自分たちのサービスの説明ビデオを配布するなど、地域住民への投げかけを積極的にを行っています。また、地域の民生委員や利用者家族、行政、学識経験者を含めて運営推進会議を持ち、地域のネットワークづくりにも力を入れています。

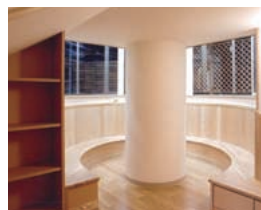
柴田さんは、「今後は、ひつじ雲を拠点にして、地域が持っているニーズを探っていきたいですね」と、小規模多機能型サービスの可能性について語ります。

小規模多機能型居宅介護ひつじ雲  
 神奈川県川崎市幸区幸町2-1-697  
 ☎044-522-14910

### — 社会福祉施設の設計監理 —

株式会社 安江設計研究所  
 YASUE & ASSOCIATES' Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808  
 TEL 03(3449) 1771 / FAX 03(3449) 1772  
 URL: www.yasue-sekkei.co.jp  
 E-mail: yasue@yasue-sekkei.co.jp



S 保育園（横浜市）



新築・増築・改修の他、耐震診断・建物定期報告・アスベスト調査等お気軽にご相談ください